

# 北海道教育大学附属札幌小学校

(様式 4-2 : 平成 30 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度 実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称：貿易や運輸					
2. テーマ：小学校 5 学年におけるモビリティ・マネジメント教育の実施					
3. 実施教科：社会科					
4. 関連単元：世界とつながる日本の工業					
5. 実施単元数：5 時間					
6. 学年	5 学年	7. クラス数	2 クラス	8. 生徒数	73 名
<p>9. 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領においては、「我が国の工業生産について」を探求する中で、貿易や運輸の役割について、新たに学習することが明らかになった。現行指導要領においても、触れる内容ではあるが、小単元として新たに加わった内容である。</li> <li>・そこで、本研究授業においては、陸運、海運、空運のそれぞれの輸送方法が、製品や原材料などによって使い分けられていることに着目させ、輸送コストと環境や輸送時間などに関連付け、どの輸送手段を選んでいるのかを考える時間を構成したい。そうすることによって、様々な物流を支える方々の工夫と努力を捉え、自分たちの生活が支えられていることを運輸の面から捉え直していけると考えた。</li> </ul>					
■実施時期と単元構成 (全 5 時)					
実施時期		単元内容			
3 月上旬		北海道胆振東部地震の、コンビニやスーパーの品薄状態の写真から、物流に目を向け調べたいくなる思いを生む。(1 時間)			
3 月上旬		物流の実際について現地学習を通して調べる (2 時間) ・輸送コストや輸送時間、輸送量、Co2 排出量などに着目 ・交通網の広がりに着目			
3 月中旬 ～下旬		★本時 身の回りにあるものが、何を使って届けられているのかの組み合わせを考えるゲームを通して、輸送方法のメリットとデメリットを捉える (1 時間)			

	どの製品を、どの輸送方法で運ぶか、輸送コストや輸送時間、輸送量、Co2 排出量などに着目し、それぞれを関連付けて考える。そうすることを通して、物流を支える方々が、様々な工夫や努力をしていることに目を向けさせていく。
3月中旬 ～下旬	我が国の身の回りにあるものと貿易や運輸との関わりについてまとめる (1時間)

## 10. 学習のながれ

### 単元の導入

#### 北海道胆振東部地震における札幌市の状況から、学習問題を構成

# 185

左図を提示し、何の数字かを予想する場を構成し、北海道の食料自給率であることを明らかにします。

185%が、どういう状況かを確認し、北海道の人口の約2倍弱の人たち、およそ900万人分くらいの食料があることを理解していきました。

その後、写真を提示し、コンビニやスーパーに食料がないことを読み取る場を構成しました。そうすることで、食料がたくさんある北海道なのに、食料不足になる理由を調べたいという思いを引き出していきました。



### 実際の板書



## 2・3時間目

### 苫小牧西港フェリーターミナルと北海道コカ・コーラボトリングに現地学習

子どもたちは、現地学習を通して、物流の実際について調べました。フェリーから下りてくる、自動車が乗用車とトラックが半々であることや、多くの物が船で運ばれていることを調べました。



北海道コカ・コーラボトリングでは、飲み物の原料やペットボトルがどこから、どのように届けられているのかを座学を通して学びました。

また、実際にトラックが工場に入ってきて物を下ろしたり、作った飲み物を積み込んだりする現場を見ることもできました。

飲み物一つをとってみても、北海道以外の都府県から、原料が届けられたり、

海外からも届けられたりしていることを改めて実感していました。

様々な営業所に飲み物が届けられることを知り、「北海道胆振東部地震の時に、飲み物がなかったのも納得できた。」と振り返っている子もいました。

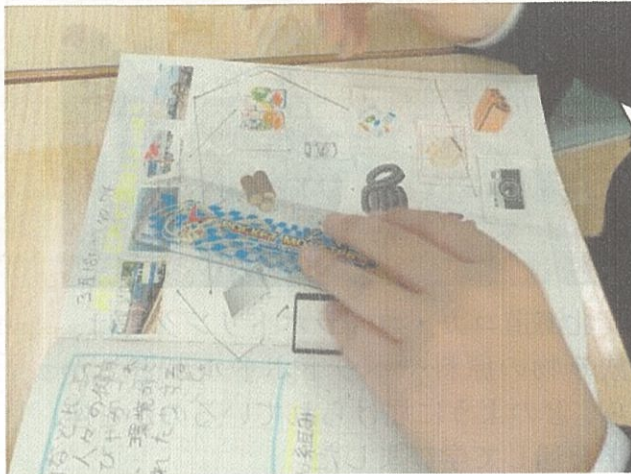
## 4時間目

何をどれで運ぶのかをゲーム形式で学習する中で、それぞれの輸送方法のメリットやデメリットを見いだしていく授業を構成



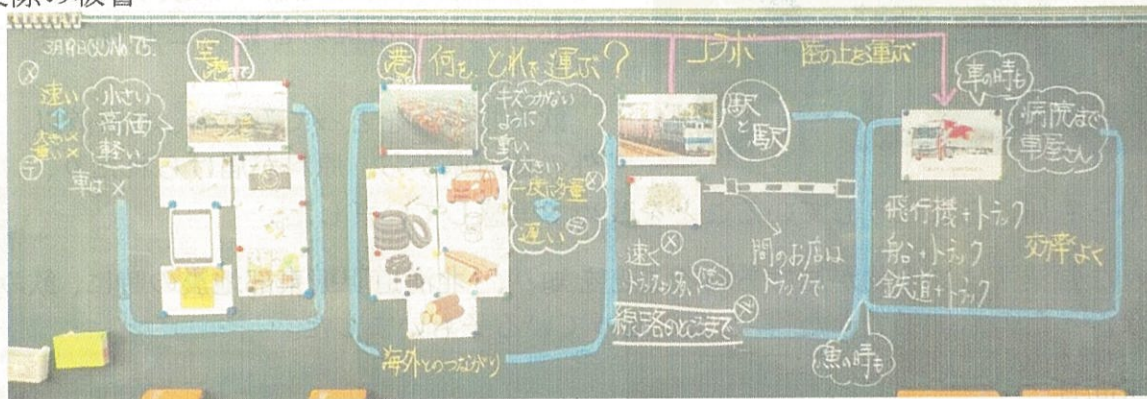
重たいものや軽いもの、高いものや安いもの、大きいものや小さいものなど、物にあわせて輸送方法を選んでいました。授業の中で「どのものも結局最後は、トラックによって運ばれているんじゃないか?!」と発言する子がいました。そこから、飛行機や船は港まで、鉄道は駅までであることを見だし、その先の現場や家まではトラックが活躍していることを捉えていきました。

「全てトラックで行えばいいのではないか?」という教師の問いかけには、「国を越えるものは、トラックだけだと運べないし、全てトラックだと排気ガスがたくさんでる。」などと、空間的に捉えて考える子や、環境面についても考える子もいました。



子どもたちは、ゲームを通してそれぞれの輸送のメリットが最大限生きるように、物が運ばれていることを学んでいきました。

実際の板書



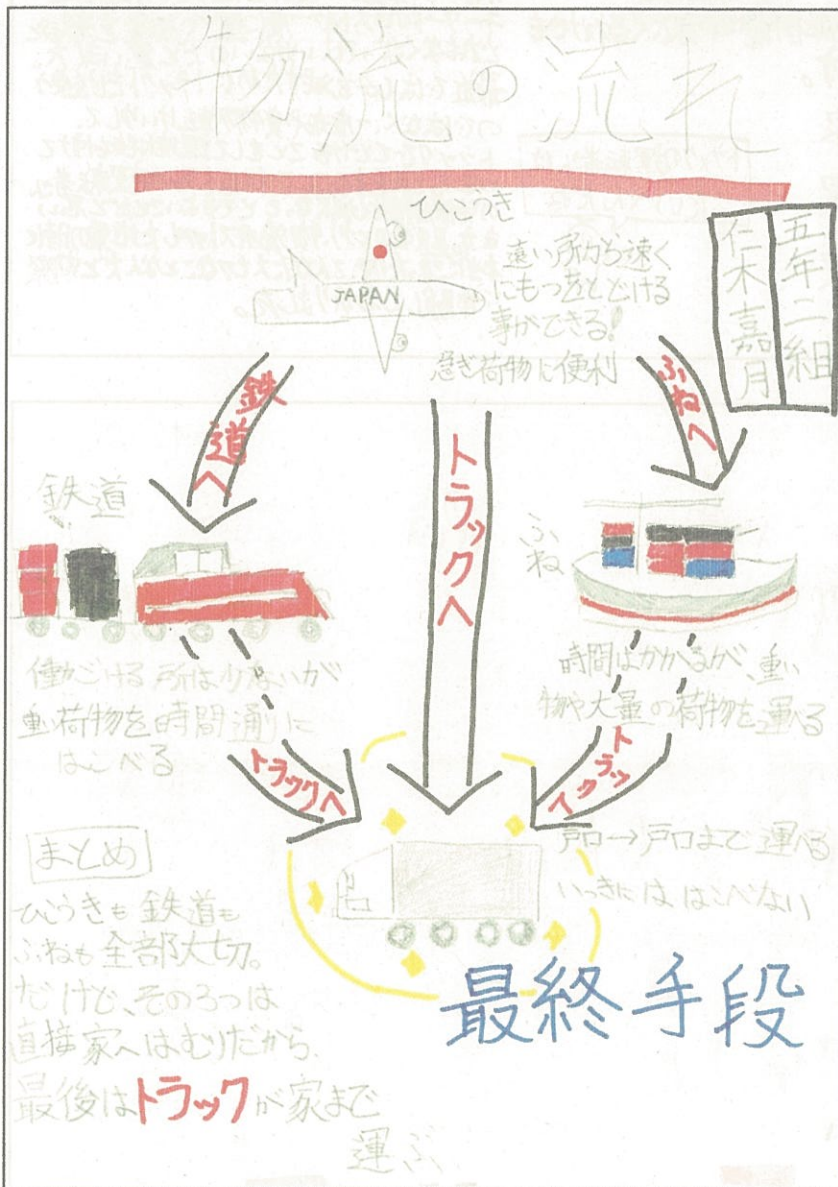
児童の振り返り

ふりがえり  
私は今まで一番便利なのは飛行機だと思っていたけれど、今日の授業でトラックもすごいんだということが分かりました。どんなものでも運んでくれる人がいるから、生活しようと思えます。

自分たちの暮らしをささぐえと支えている物がどこかまでどうやって運ばれているのか分かりました。他に道具などはどうやってとってくるのかを調べてみたいですね。

5 時間目

学んできたことをまとめる時間



子どもたちは、見学をした事と前の時間で学んだ事を生かし、トラックが大きな役割を果たしていることやどこか一つでも止まると、物流全体が止まってしまうことをまとめていました。

自分たちの生活が、物流によって支えられていることを改めて実感している様子がうかがえました。身近ではあるが、あまり目を向けられていない物流に、改めて目を向けるよいきっかけとなりました。授業を通して、再配達問題などトラックの運転手さんの抱えている課題にも目を向けている児童もいました。

生活をささえる

# 物流のいろいろな運び方

★必要のない輸送方法はない？

いろいろな輸送方法があります。船、飛行機、列車、トラックはおたかひの悪いところを **カバー** してまわす キーワード

速さ コリ コスト  
でいいい 一度に運べる量

**大事なこと!**

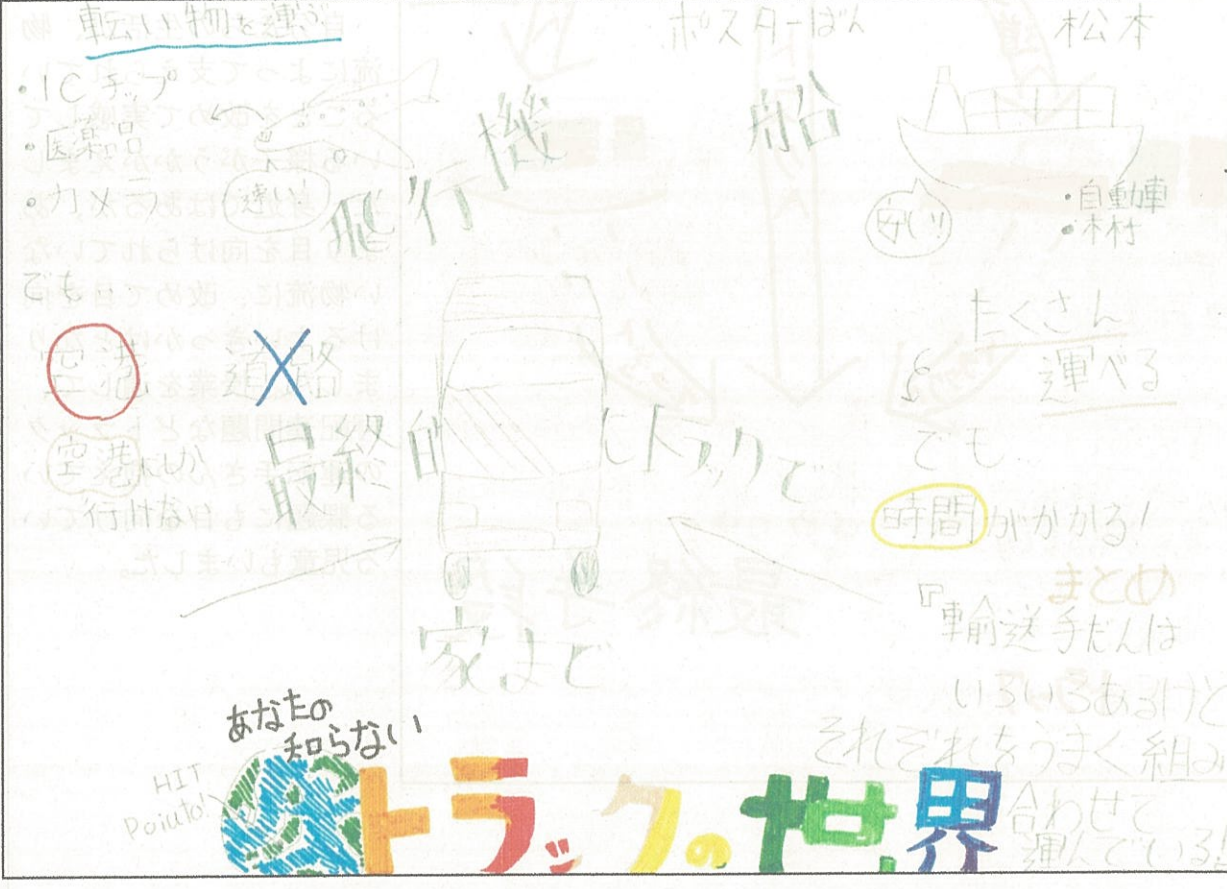
協力してるんだね

それぞれの運ぶ品は飛行機しか運べないものがあります。結果的に飛行機が家にくるわけでもないで、すべてトラックになります。

- ふね → トラック → 家
- ひこうき → トラック → 家
- かもつ れん → トラック → 家

トラックの運転者さんはたいへんだね

まとめ  
私は物流のことはなにも知らなくて、かもつ列車はいろいろだと思ってたけれど、キーワードのコストや一度に運べる量を考えるとなくなってしまうのだと気づいた。最近ではほを減すためにトラックだけを使うのではなく、一度船や貨物列車をけいりして、トラックでつづけることをして環境に後を付けていままこれをすることで私はトラックの運転者さんの労働時間と減ることでもよいことだと思えます。見聞のとか、物流がスムーズな地帯の利便に本質にまわしたので、こんな大切なことなんだと実際に体験してわかりました。



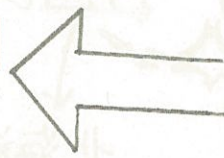
# 色々な運び方 ~トラックの

鈴木美友

大切さ

電車 飛行機 船  
 時間通り 小さい物 大きい物  
 速い 重い物

運ぶ物によって  
 使う輸送のし方が  
 変わるのなぜ?



良さ

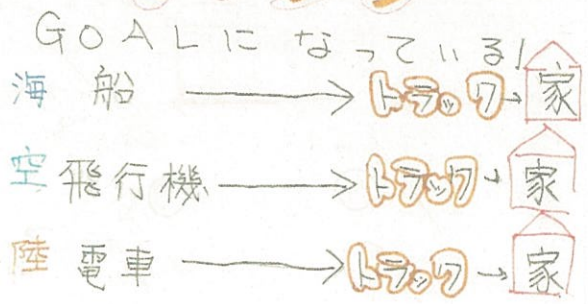
電車 飛行機 船  
 せんのの上だけ コストが 大きい おそい  
 環境に悪い 空の上だけ 海の上だけ  
 それぞれ 悪さもある!

## ふり返り

私はこの物流というテーマの  
 じゃ業を通してふだんなにげに  
 見ている物でもたくさんの人  
 のおかげで今ここにあるとい  
 う事が分かりました。例えば木  
 材などはほとんどが輸入品でそ  
 のため船や電車そしてトラックをの  
 りで今あるのです。このように  
 トラックのなにはけなしいものでも実  
 は色々な人が関わっていると知  
 りました。そういう物を大切にあ  
 げたいという気持ちや感謝の  
 気持ちが目芽えてきました。

でも全て特定の場所  
 しかいけないので  
 結局は色々な所を行け  
 る

**トラック**が



# 物流が止まれば暮らしも止まる?! 毎日に欠かせない物流

韓国 北海道

止まったり

止まったり

戸田かない

物流の1つでも切れれば届きません!

飛行機 船 列車

トラック

※物流とは、商品などの品物を生産地から消費地まで運ぶための様々な役割・役割を果たす仕事

この荷物は、最終的にトラックで運ぶので、トラックが止まれば絶対に届きません。

〈まとめ〉私達のもとにある物は、きっと全て物流を通してやってきたのだと思います。もしも物流がなくなったりお断りしたりしたら、ここにあるものもなくなってしまう。生活は不便になると思っています。生活に欠かせない物流は大切に扱ってほしいと感じました。

## いろいろな輸送方法

飛行機	船	トラック
速く遠くまで運ぶが費用が高い	重い物を海を隔てて運ぶのが簡単で安い	戸口から戸口まで運ぶが、夜に走る
主な貨物: エアコン、カメラ、医薬品	主な貨物: エキス、原油、石炭、農産物	主な貨物: 機械、部品

製品が工場からお店に来るまで

工場 → トラック → 店

工場 → トラック → 列車 → 店

これらのどしどししか一つでもとぎれると、私たちの手にはとどかない。

私たちが暮らすと、お店に物があるということは当たり前のようなことだけれど、物がお店にならないうまでには、たくさん費用や時間がかかっている。かわり、大変なことだと感じることも多い。そのため、災害時にでも、しっかりと準備をしておくことも大切だとわかった。

※学習で使った教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。